

長年にわたってアジアJグループのカウンシルを勤めていただいた穂積さんがフィン仲間ポールヘンダーソン会長の引退と時期を同じにしてカウンシルの役を降りることになり、替わって私大谷にその大役がまわってきて、その重責に大変緊張しています。同じく長年にわたってJグループのカウンシルの二つ目の席を確保してきた韓国はオリンピックを4年後に控えた中国のセーリング協会事務局長のリークワンハイ氏にその席を譲りました。

2008年にオリンピックがアジアにやってくる(オリンピッククラスの多くが2008年前期にアジアでの世界選手権開催を計画中)のを機会に、アジア内での密な協調と主なイベントでの選手交換派遣、レース運営、ジャッジそしてコーチングの大きなレベルアップをはかっていきたいと思っています。

次回のI S A F年次総会の開催の誘致に成功し、今回の選挙で見事副会長に選ばれたシンガポールのT.P. ロー氏も南北アジア、オセアニアの連携を強く望んでいるので、風通しの良い関係を築いていきたい。

センターボードボード委員会

次年度からはコミッティーの構成が変更となるためにセンターボードボード委員会としては最後の会議(大谷は韓国でのアジアパシフィック選手権でのジュリーのためC B B C会議には間に合わず不参加)となった2004年は予想を超えての多数のクラスのクラスルール変更が申請された。その中でも日本に大きな影響を与えるクラスについて報告します。

420級

R R S 42条変更、セール計測法、セールボタン、その他クラスルール全体の明確化への見直し

49er級

パーツリスト、ターンバックル式リギンアジャスターの使用許可、ウィング幅の固定

ヨーロッパ級

建造トレランス、コレクターウエイト、ブラックバンド

モス級

セール計測方法

オブティミスト級

セール計測方法、ハル構造(積層)強化

テーパー級

サイドステー スライダー調整、海上でのステー長さ調整、フォアステー長さ他

他のコミッティーとの連携

RRS4 2条についてのクラスルール変更が420協会から出されたが、それが470やフィン級と微妙に異なるため、レース運営およびジャッジングを均一化するためにクラスルールを変更する際の指針が必要とされる。

インターナショナルメジャラー

茂澤宏氏の死去、長谷川裕氏の再任申請辞退のため日本人メジャラーは不在となつてしまいました。技術力の日本としてISAFにも大きく貢献できる部門だけにJSAFとして早急に日本で普及しているクラスについてインターナショナルメジャラーを育成していく必要があると思います。

Takao Otani

otani@cityfujisawa.ne.jp